

第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会(ホール審査) 総評 コンチェルト B 部門

●審査員 A

ソリストとして明確な考えをもち、伴奏と良いアンサンブルができるとよい。ソリストを活かせるような伴奏がひける人が少なかった。大きな規模の曲は構成を考え、経過句でも全体が大きくなり、よく設計をして変化をつけられるとよい演奏につながるでしょう。

●審査員 B

今日は全体的にレベルが高く、皆さん楽しんで舞台上で演奏していました。演奏、特にショパンの演奏で大切なことは、柔らかく歌うような高貴なタッチです。また、音楽は常に生き生きとしていなければなりません。テンポの遅い部分で音楽が止まってしまうまいよう、ショパンの書いた長く美しいフレーズを感じてください。また、オーケストラのパートも感じ、オーケストラをリードしてください。頑張ってください！

●審査員 C

皆様、技術的にしっかり弾いておられます。より語れるといいのではと思いました。動と静、緊張と弛緩、open と close 等の対称性も考えて、より心情の陰影を音にして表現、ハーモニーの変化も味わって、フレーズを大きくとって音色豊かに語れるといいなと思いました。

●審査員 D

難曲を立派に演奏されました。それぞれの個性が良く伝わってきました。特にメロディックな部分、抒情的な部分では、澄んだ音色で柔らかく美しく弾かれた方が多く、印象に残りました。しかし、今回演奏された作品においては躍動感、力強さなどが不足しているように感じました。芯のあるタッチ、歯切れ良さのある発音、そして何よりも確固たる指の動きをさらに勉強して、完成度の高いショパン作品の理想像に一步ずつ近づいてください。

●審査員 E

皆さん良く弾かれていました。流れの中で自分の表現をもっとはっきり表現出来るといいです。音の響きを最後まで耳で聴いて下さいね。大きなフレーズで音楽をとらえる事は大切ですが、それと同時に細部まで音の一つ一つを大切に表現して下さいね。コンツェルトはオーケストラとの演奏で得る事が一杯あると思います。この先、皆さんがオーケストラと協演されて経験をつまれて更に素晴らしい演奏が出来ますよう祈っています。これからもがんばって下さい。

●審査員 F

ショパンコンチェルトの大きな曲を皆さんよく弾かれてまとめています。ピアノ 2 台でのコンチェルトなので、ソリストの方は、オケパートの方とは音色の工夫をして演奏して欲しいと思いました。難しいので弾くことに一生懸命になりがちですが、オケとのかけ合いを楽しんで弾かれる余裕が出てくると良いと思います。技術的な面で難しい所も、より鮮やかに弾かれると良いですね。オケパートとのバランスも考えて演奏されると良いと思います。